

令和2年12月15日(火) No.454



グリットを高め いつも仲間とともに 夢のある学校

里中だより

川口市立里中学校
川口市里621番地
TEL 048-282-5708
さわやか相談室 284-1010
1年202名 2年212名 3年176名
<http://www.sato-chu.com/>

グリット（やり抜く力）を発揮している生徒（学習編）

校長 荻上 晃司

令和2年のカレンダーも最後のページとなりました。新型コロナウイルス感染症の収束を願い買い求めた令和3年Mのカレンダーも出番を待ちながら平穏な日常が訪れることを願っているかのようにです。

里中だより11月号では、運動面でグリットを発揮した生徒の活躍を紹介しました。今回は、学習面でグリットを発揮している生徒の実践を紹介します。

臨時休業中に3年生のあるクラスの学級通信を読んでいたところ、4月15日から5月6日まで（3週間）の合計学習時間第1位127時間（1日平均5.8時間）という記事が目にとまりました。担任の先生にお願いして、学校が再開した6月にその生徒と話をする機会を作ってもらったところ、「いつ学校が再開しても授業についていけるようにしたい」、「自分の進路を切り拓くために家庭学習を欠かさないようにしている」とのことでした。学校再開の目途が立たず誰もが不安に感じていたこの時期にグリットが高い生徒だと強く感じたことを覚えています。11月になり、もう一度話をする機会を作ってもらいましたが、半年以上経過した今でも自分の進路希望の実現に向けて毎日家庭学習を続けているそうです。生徒のコメントを掲載します。

私は、新型コロナウイルスによる3カ月の臨時休業期間で自主性を身に付けることができました。なぜなら、受験生であることを自覚したからです。時には、ウイルスによる目に見えない恐怖や受験による先が見えない恐怖に怯える日もありました。しかし、今行っていることは必ず報われると自分に言い聞かせ、自主的に自宅で勉強を続けました。その結果、1学期の成績を上げることができました。夏休み以降も1日も欠かさず学習を続け、2学期の定期テストでも結果に繋げることができました。この経験を活かし、受験でも良い結果を出せるよう最後まで自主的に勉強を続けたいと思います。

学習でも部活動でも努力が結果にあらわれた人もいますが、努力が結果につながらず、悩んでいる人も多と思います。「過去と相手を変えることはできない。変えることができるのは、未来と自分自身だ」という言葉があります。大切なのは、少なくとも学習と部活動それぞれについて、自分で目標を立て、失敗してもあきらめず、達成を目指してやり抜くことです。そうすることで、自分の未来が開けてくることを知ってほしいと思っています。今の自分を変えることで自分の未来を変えることができるのです。

長期にわたる臨時休業により失った分の授業時数の確保は、解決しなければならない大きな課題であると捉え、2学期は7時間授業や月曜6時間授業、学校行事の精選等で対応してまいりました。その結果、年度末には学習指導要領が定める標準時数を確保できる見通しが立ちましたので、3学期は通常日課に戻す予定です。生徒の皆さんは、授業数が多く大変だったと思いますが、私がいつ教室訪問をしても、集中して授業に取り組んでいました。また、7月に実施した埼玉県学力学習状況調査において、本校は、全学年・全教科で県平均を上回っていました。引き続き、自ら進路を切り拓くためにも授業や家庭学習に真剣に取り組むことを願っています。

今年も1年が終わろうとしています。保護者、地域の皆様には今年も大変お世話になりました。ありがとうございました。皆様、よいお年をお迎えください。3学期始業式に生徒の皆さんが元気に登校することを教職員一同楽しみにしています。